様式1-1

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 690146	中学校運営事業費	主管課名	学校教育課
この事務事業の位置	政策	社会と次代を担う自立した人材の育成	課長名	水野　克弘
	施策	豊かな心と個性が輝くまち		
	基本事業	教育内容・活動の充実		

(1)事業の概要

義務教育施設として中学校を管理運営していくの必要となる維持費に支払い及び消耗品等を購入する。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	市立中学校数	校
②	中学校生徒数	人
③	中学校教職員数	人

その指標

(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	義務教育施設として、中学校が円滑に管理運営していくのに必要な学校管理費の適切な予算執行を行い、教育環境を整備する。
26年度計画	□前年と同様 ■変更あり → 変更内容：教育環境の充実、整備が求められている。

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

市立の中学校

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) ･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	市立中学校	校
②		
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

生徒が充実して学べるより良い環境を提供する

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) ･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	学校管理に掛る生徒一人当たりの額	円
②		
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

安心して生活でき、進んで学習できる環境をつくるとともに、規則正しく生活する健康的な体力づくりを行う態度を育てる

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) ･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	教育基本計画における重点施策の達成率	%
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標＼年度		単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
(5)の活動指標	①	校		4	4	4	4	4
	②	人		2,357	2,323	2,363	2,377	2,303
	③	人		149	145	150	150	145
(6)の対象指標	①	校		4	4	4	4	4
	②							
	③							
(7)の成果指標	①	円		17,770	20,105	20,105	20,105	20,105
	②							
	③							
(8)の結果の成果指標	①	%		98.1	100	100	100	100
	②							
	③							

(10)予算費目　会計　01 一般会計　款 10　項 03　目 01

(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	0	41,890	53,262	56,941	56,941	56,941
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	587	358	358	358	358
	一般財源	千円	0	41,303	52,904	56,583	56,583	56,583
人件費B		千円	0	431	431	431	431	431
	正職員従事時間×人数	時間×人	×	29 × 4	29 × 4	29 × 4	29 × 4	29 × 4
	正職員以外の人件費	千円		0	0	0	0	0
その他費用C		千円		250	250	250	250	250
トータルコストA+B+C		千円	0	42,571	53,943	57,622	57,622	57,622
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/　校		10,643	13,486	14,406	14,406	14,406
	②	千円/						
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	690146	中学校運営事業費

(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
学校設置時　から	水道の漏水等、突発的な対応に苦慮している。 平成25年度より、自動体外式除細動器（AED)を学校教育課で維持管理することとなった。4校が、平成18年3月に購入を行っており、本体の交換時期がきている。
(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 学校の設置者として学校を管理し、経費を負担しなければならない。	
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ □変化していない ■変化している → 変化した内容：教育環境の充実、整備が求められている。	

3 評価（SEE）				
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
			根拠法令	学校教育法
			この事務を行う根拠又は理由	「市町村は、その区域内の学齢児童・生徒を就学させるのに必要な小・中学校を設置しなければならない」とされている。
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由	
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容	
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容	
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	義務教育に掛る経費であり、妥当である。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	■ある → ■庁内事業 / □庁外事業 □ない	類似事業名	小学校運営事業
			類似事業との再編の可能性	□ある → 内容 ■ない
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容	
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある / □ない → □現状で適正 / □検討が必要 ■受益者がいない	内容	

4 改革改善案（PLAN）						
(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	→ 維持	事業費の方向性	→ 維持	成果の方向性	↑ 向上
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど	施設維持費について、使用量を軽減させるなどさらなる努力が必要となる。 教育環境の充実、整備が求められ、適切で効果的な維持管理が必要となる。					